



Application

## マウス十二指腸由来cDNAのGAPDHの増幅 (Rotor-Gene)

製品名

KAPASYBR Fast qPCR Kit (KK4612)

メーカー名

KAPA BIOSYSTEMS 社

下記のデータは、北海道大学大学院 医学研究科 解剖学講座 組織細胞学分野 木村俊介 様のご厚意により掲載させて頂きました。

### 実験方法

Qiagen Rotor-Gene Q (Corbett Rotor-Gene 6000) で2社のqPCR試薬を用い、マウス十二指腸のcDNAを4段階に希釈したサンプルでマウスGAPDHの増幅を比較しました。

● サンプル：マウス十二指腸由来 cDNA

● 検討試薬：KAPASYBR Fast qPCR Kit (SYBR® Green 蛍光色素使用)  
Q社製品 (SYBR® Green 蛍光色素使用)

● 反応組成

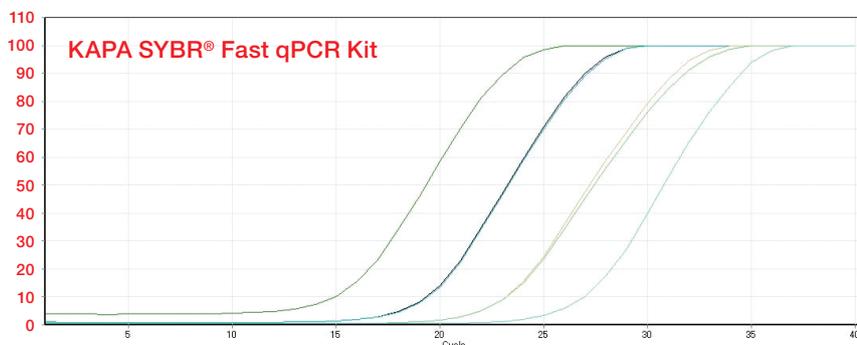
2xマスターミックス	10μl
10μM Fwd Primer	0.5μl
10μM Rev Primer	0.5μl
Template	1μl (50ngのmRNAからの逆転写に相当するcDNA)
ddH <sub>2</sub> O	8μl
Total	20μl

● 反応プログラム (両製品共通)

95℃	5min	} 40 cycle
95℃	5sec	
60℃	10sec	

● 装置：Qiagen Rotor-Gene Q  
(Corbett Rotor-Gene 6000)  
※0.2ml チューブ使用

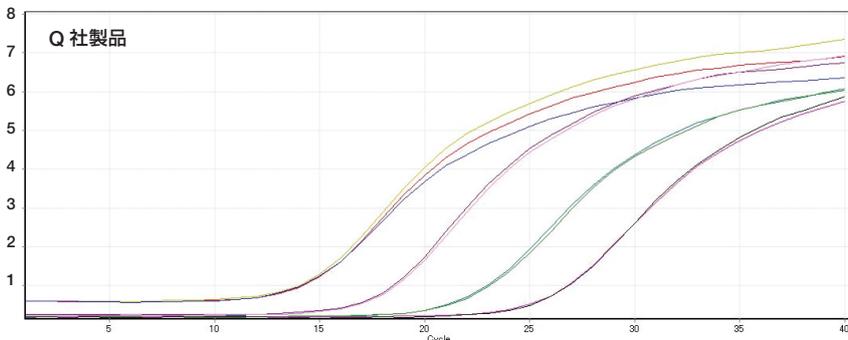
### 結果



比較に用いた Q 社製品の標準プロトコルをそのまま使用しました。テンプレートはマウス十二指腸の cDNA を4段階に希釈したものを使用して、マウス GAPDH の増幅を調べました。

結果、KAPA の方が蛍光強度が強く良い結果が得られました。

※Ct 値による比較は実施しませんでした。



お客様のコメント

今回、KAPASYBR Fast qPCR Kit (KK4612) では、これまで使用していたQ社キットのプロトコルを変更せずに、感度の良いqPCRを行うことが出来ました。